

## 実運送部門

### ● Q & A

#### ➤ Gマークはなぜ必要？

15年ぐらい以前では、白ナンバートラックの運送屋さん？が、法律の規制を無視して、重量オーバーとか、低運賃とかで稼いだものでしたが、世論のコンプライアンス旋風に運輸局が押された格好で、白ナンバーの業者に無理矢理でも緑ナンバーを与えて現在につながっています。この続きでもあるのですが、同じ緑ナンバーでも安全重視の会社であるということを広く世間にアピールするために「Gマーク安全評価事業認定マーク」を、与えて、昔の白ナンバーから緑ナンバーにしたように緑ナンバーの中の質を高めて、今後運送会社として生き残ることができるようにしているのです。

#### ➤ グリーン経営に参加をするのはなぜ？グリーン経営の参加は、自分自身の安全のためだと思っておいてください。

オイル交換をチェックするのも、エアーエレメントをチェックするのも、タイヤの空気圧をチェックするのもすべて、トラックが安全に走行する為です。ということは、乗務員さんの安全を守るためだと言えるのです。

燃料消費をチェックするのは、無駄な高回転での危険運転がないか、無駄なアイドリングがないかを調べて、常に危険性と経済性にチェックが働くようにしてほしいのです。

## ● Q & A

### ➤ どうして4時間に30分の休憩が必要なの？

4時間でも長すぎると思うことがありますが、疲れたときに細切れに休憩時間を5分刻みにとっても本当の休憩になっていないと思われるので、最低でも4時間に30分(又は15分+15分)の休憩を、8時間に合計1時間の休憩を取ろうというのが科学的にも、医学的にも追及されて調べた結果の決まりです。

### ➤ どうして、一日連続8時間の休息を取るのか？

これも医学的に、科学的に研究されての数字かと思いますが、24時間から、休息時間を最初に決めて、それから働ける時間を決めるべきだということだと思います。



### ➤ どうして、連続8時間が取れないときに5+5、4+6の休息時間が必要なのか？

特にトラックの中で休息を取るのが多い乗務員さんの場合、作業とか、待機時間的なこととかで8時間連続が難しいので、特例として分割での休息を認めています。降ろしに行くまでに5時間、帰り荷を積む前か積んでから5時間の休息を取ることによって、24時間中10時間の休息が確保され、労働時間が14時間になり、1日の労働時間がぎりぎりセーフになるということです。

